

農家女性による地域食材を活用した食品製造と販売所・レストランの運営

支援機関 愛媛県中小企業団体中央会 支援内容 6次産業化 支援区分 6次産業化

企業組合 津島あぐり工房

事業者概要

社名／企業組合 津島あぐり工房
代表者名／理事長（代表理事） 山下 由美
業種／加工食品の製造・販売及び飲食店営業
所在地／宇和島市津島町高田甲576番地
資本金／200,000円
設立／平成24年8月24日
従業員数／8名（組合員4名、うち専従2名）



あすも外観

支援に至る経緯

平成15年に「農家女性の自立」を掲げ、4人の仲間で「津島あぐり工房」を結成し、「女性農業者は作り手であると同時に消費者であり、そのニーズを的確に把握できる」という考えのもと、女性による「農産物へ付加価値をつけて販売する」事業を開始した。目的は、「農家女性の経済的な自立」とともに、「地域の食文化を次世代へ伝えること」に置き、地域の食材を利用した食品の製造・販売を地域で実施している。過去に事業経営の経験がなく、最初は何をするにも試行錯誤の繰り返しであったが、様々な方々の力添えにより事業を進めてきた。平成21年4月からは、JAえひめ南の協力により米粉パン専門店「手作りパン工房みなみ」を運営していたが、契約期間3年が既に満了している。

そこで、今後の展開について、6次産業化に本格的に取り組むこととし、米粉を使用したパン及び菓子の製造・販売や新商品「味噌パン」の開発・販売とともに、地元の農産物や米粉加工品等の食事を提供するため、自分たちの加工場及び販売所・レストランを持つことにした。現状のままでは限界を感じていたことから、平成24年に、愛媛県中小企業団体中央会（以下、「中央会」という）の支援により運営組織の法人化を進めることとなった。

支援内容

法人化においては、会社やNPO法人等の形態も検討したが、思いをひとつにして同じところに向かっていく仲間で作る法人として企業組合が適していると考えた。愛媛県中央会宇和島支所へ相談しながら事業計画や予算、定款等について検討し、平成24年8月に「企業組合津島あぐり工房」を設立した。その後、上田専門家の支援のもと、公益財団法人えひめ産業振興財団の「地域密着型ビジネス創出助成事業」を利用できることとなり、加工設備等を加工場へ導入した。

また、販売所・レストラン「あすも」を平成24年にオープンし、加工食品の販売や食事の提供について、現在も新メニューを増やしながら運営している。

中央会の支援では、組合の持つ課題を解決するための指導事業を活用してデザイナーの支援を受け、店舗看板や商品パッケージ等に使用するロゴマークを作成・使用している。また、当組合の旺盛な新商品開発意欲に応えるため、「えひめプロダクツ市場開拓支援事業」により、2度にわたって組合の開発した新たな加工食品の品評やアドバイスをを行い、商品化に向けて支援を受けている。そのほか、全般的な組合運営支援や情報提供等を今後も継続して実施することとしている。

支援の効果

法人化により、メンバーの事業化に向けた姿勢の本気度がさらに増し、対外的な信用力が高まり、活動についての自信が強まった。そのため、事業活動の浸透が進む中で、顧客ニーズの把握や新商品・販売方法の検討においても迷いなく実施されている。

事業活動の中心は、農家女性による、地域食材を活用した手作りパンや惣菜の開発、レストランでのメニューづくりである。これらの地域に密着した活動により、地域女性の共感を生むことができ、一層、顧客のニーズを取り込むことができているものと思われる。この経験から、新たな販路の開拓や小売店舗がない地域への車両による移動販売など、当初計画以上の広がりを持った事業の実施につながっている。

成功要因は、「女性農業者は作り手であると同時に消費者」であるという消費者目線をもっていることであり、また、女性の集まって話す情報共有手法や、考えたことを即実行に移す行動力、迅速な意思決定などに強みを持つことであった。これらのことは、順調に成長を続ける原動力となっているものと考えられる。

今後の展開

地域の女性ネットワークを活かして営業活動をした結果、売上が増加するなど、実施したことが結果につながっている。新たなサービスの提供として、地域ニーズを取り入れて移動販売を開始するなど、好循環で事業が回っている。移動販売事業は、共同事業の収益の柱として期待できると考えている。

また、新たに発見した地域の行事とともに食べられる餅を活用した事業についても計画段階であり、このような新たなニーズを発見できること自体が、この事業で得られた成果と考えている。今後も地域の食材を活用した新たな加工食品の開発を活発に行い、商品化していくことで、地域の食品の付加価値を高め、伝統の食文化を次の世代に伝えていきたいと考えている。

事業者の声

自分たちの思いと行動力で事業を進めていくうちに、組合や事業の運営ノウハウがないことに気づき、マネジメントの必要性を感じていました。そのような時に、中央会をはじめとする多くの団体の様々な支援を受け、自分達の足りない点についてアドバイスを受けるなどして、自分たちの活動の見直しや課題解決のきっかけを掴むことができました。今後も新たな商品やサービスを導入し、この事業を応援いただいている地域の皆様に貢献していきたいと思っております。



理事長（代表理事） 山下 由美氏

STAFF-VOICE

山下理事長をはじめとする組合関係者のアイデアや行動力、団結力にお応えし、今後も組合の皆様の思いを実現する力が最大限に発揮されるよう支援して参ります。